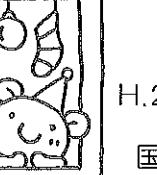


# ほけんだよい

(vol. 7)



H.25. 11. 25

国風第一幼稚園

☆寒くなってきて  
胃腸かぜの  
症状がみられる  
ようになってきました。

☆体調が悪い時は  
無理をせず、ゆっくり  
しっかり直してから  
登園しましょう。

☆うがい、手洗いを  
習慣づけて予防  
を心がけましょう。

## 「感染性胃腸炎」にご注意！

寒くなるころ、ノロウイルスやロタウイルスなど、なんらかのウイルスに感染し、嘔吐・下痢症状をくり返すことがあります。感染力の強い病気ですので、ご家庭でも十分注意をお願いします。



### 主な症状とケア

激しい嘔吐や下痢が突然始まる。どちらか一方だけのときもある。発熱しないことが多い。吐き気が治まってきたら、少しずつ水分補給をするが、乳児はときに、急激に悪化することがあるので注意する。

### 注意すること

家庭内で感染が広がることも多い。嘔吐物や下痢便には直接ふれないようにして、念入りな手洗いが大切。アルコール消毒は効かないことが多いので、漂白剤系（ミルトン液など）の消毒薬を使って、汚れた床などをふくとよい。

## 正しい手洗いを

手洗いで予防できる病気はたくさんあります。正しく洗って、健康に過ごしましょう！

せっけんを泡立てて……

①てのひら

②手の甲

③指の間

④指先、つめ

⑤手首

⑥洗い流す

指と指の間、指先、手首は洗い残しが多いよ。念入りにね  
チェック！

## 家族みんなで ガラガラうがい

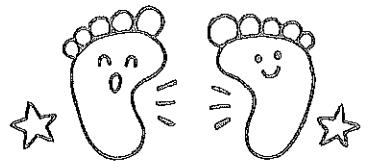
かぜの予防に大切なうがいですが、習慣づけるのはなかなか大変ですね。まずはお母さん、お父さんがやって見せるのがいちばん！ 外から帰ったらすぐ「一緒にやろう」とお子さんを誘ってください。みんなでガラガラすれば、かぜなんかこわくない！ 小さい子は、口に水を含んで「ペッ」と吐き出すだけでも効果があります。



## 土踏まず、できたかな？

昔は5~6歳になると、90%の子に土踏まずがありました。土踏まずは、歩く、走る、はねるなど、足をたくさん使うことで、4~5歳から少しづつできています。足の親指でくる動作や足指を開いてあそぶような動きも、土踏まずの形成を促すといわれています。はだしでのぞうきんがけや平均台、登り棒などを行う動作に通じますね。日ごろからたくさん歩くように心がけ、土踏まずの形成を促すようなあそびを取り入れて、運動能力の向上を図っていきましょう。

足に合った靴を履いて、沢山遊びましょう。



### 土踏まずの役目

- ①足全体への負担を減らす。
- ②バランスよく、体重を支える。
- ③体への衝撃を和らげる。
- ④歩くときにはねとなり、動作を効率よくさせる。

## 食品添加物について知ろう

食品を製造、加工、保存するときに使われる食品添加物は、色や香り、味をプラスしたり、保存性を高めて食中毒を予防したり、栄養成分を強化したりするなどの目的で使われています。「甘味料」「香料」「着色料」「保存料」などの表示が食品添加物。しかし、舌が赤くなるような着色料や、強い香料については、極力子どもたちには避けたいものですね。表示の読み方と内容をチェックしながら賢く選びましょう。



## 冬が旬のたらを食べよう

たらを漢字で書くと魚偏に雪。文字どおり、冬が旬の魚です。白身魚のたらは、良質なたんぱく質を多く含み、脂肪が少なく、亜鉛や銅などが豊富です。子どもたちに人気のメニューは、のりを加えた磯煮、ねぎや白菜など冬野菜といっしょに、みそで煮込んだたら汁、カレー風味のムニエルなど。鮮魚で売られているのはマダラが多く、また、すけそだらの卵がたらこです。たらこには、ビタミンEが豊富で抗酸化作用もあります。



### 今回のおたよりの参考資料

- ・『ピコロ11月号・12月号』学研
- ・『ポット11月号』チャイルド
- ・『健康おたより文例集』学研
- ・『健康・病気のおたより文例集』ひかりのくに

